

	き ん し ひ な 金 鷄 の 芻 佳	長野県長野高等学校 定時制だより第5号 2023年10月4日
---	---	---

前期終了！ 後期スタート！

10月2日(月)に、終始業式を行いました。2学期制の本校定時制では、9月いっぱいまでが前期、10月からが後期となります。

廣田校長先生からは、前期における金鷄祭、生活体験発表大会、定通体育大会などにおける生徒たちの積極的な取り組みを振り返りながら、後期のさらなる飛躍への期待をお話いただきました。

また、生徒指導の本多先生からは、「性暴力被害者ホットライン」開設の周知の中で、「ささいな問題をそのままにしておくと、拡大化してしまうことがある。信頼できる大人に早めに相談し、対面での相談が難しければ、ホットライン等のLINEや電話による窓口にご相談してください」とのお話がありました。

前期においては、4月の新入生との対面式、定通体育大会、善光寺・県立美術館を訪れた全体行事、スポーツデイ、大繁盛のアイスクリーム店経営を行った金鷄祭、生活体験発表大会など、さまざまな場面で、生徒の皆さんの活躍や、充実した学校生活を送る様子を見ることができました。

後期は、3月卒業予定の3・4年生にとって、卒業後の進路を考え、決定していく大切な時期になります。1・2年生にとっても、進級のために着実に学力をつけるとともに、上級生の姿を見て、自身の卒業後の姿を真剣に思い描いてみるのに良い時期となります。

令和5年度の学校生活は、もう半分終わってしまいました。残りの長野高校定時制での生活は、前期同様、皆さんを大きく成長させる可能性を秘めています。一日一日を、一時間一時間の授業を大切にしてい、実り多い後期になるよう願っています。

校内生活体験発表大会

8月31日(木)に、校内生活体験発表大会を行いました。「校内」とは言うものの、今年初めて高校の教員として採用された北信地区の7人の先生方も研修として参加し、35人ほどが参加する立派な大会となりました。

各学年から選出された6名の発表者は、多くの人々の前で、臆することなく堂々と自分の思いを述べてくれました。過去を冷静に振り返りつつ、自分自身の成長を認め、これからの生活にどのような決意を抱いているのかを、それぞれの視点、言葉で語ってくれました。以下は生徒の感想の一部です。

- ・一人一人しっかりと心の中に成長があり、時間はかかっていたが今しっかりと自分の道を歩いているようすごいと思った。
- ・みんなそれぞれ色々悩みを乗り越えてきて今を頑張っているんだなと思いました。
- ・その人の今まで経験してきたことは、普通に生活していたら知ることはないのでとても興味深かった。共感できる場所が多く、自然と勇気を与えてくれた。

また、発表者以外の生徒たちは、みな運営委員として司会、集計、計時、回収等それぞれの役割を果たし、円滑な大会の進行に貢献しました。

- ・係の人たち全員が協力して素晴らしい発表会になっていた。
- ・係の仕事も一人一人が責任感をもって取り組んでいてよかった。

最優秀賞には4年の竹内さんが選出され、9月8日(金)に若里市民文化ホールで行われた北信大会に出場し、凛とした姿勢と真摯な内容が評価され、審査員特別賞を受賞しました。



(文責 定時制教頭)